

FDKの生産拠点とグループ会社の活動を紹介します。

湖西工場

操業	1963年6月
住所	〒431-0495 静岡県湖西市鷺津2281
TEL	053-576-2151
生産品目	スイッチング電源、積層チップパワーインダクタ、高周波積層部品、トナー
従業員数	559人



自然豊かな静岡県浜名湖はさまざまな魚介類が生息し、うなぎの産地で有名です。また、春には観光客が訪れて潮干狩りでにぎあう場所となっています。湖西工場はこの浜名湖の西に立地し、FDKグループの研究開発や技術・管理業務において中心的な拠点となっています。

湖西工場は、環境活動において、FDKグループ全体の目標立案や各拠点の進捗状況確認などを行って全社の活動を推進しています。2006年度は、FDKグループ第三期環境行動計画の実績のまとめを行い、第四期環境行動計画を策定しました。また、湖西事業所としてのISO14001による、マネジメント活動も行っています。2006年度は特に、以下の2つに重点を置いた活動を展開しました。

- 1.FDKグループ含有化学物質管理体制の構築
2006年7月1日より欧州RoHS指令が適用されることもあり、グループ全ての生産拠点における含有化学物質管理体制の構築を推進し、運用管理体制を整えました。
- 2.湖西事業所環境内部監査の充実
環境マネジメント活動をより活性化し、継続的な改善を進めていくためにも内部監査員のレベルアップと内部監査の充実を図りました。これからもFDKグループの中核として持続可能な社会の形成、そして地球環境保護に貢献できる活動を展開していきます。



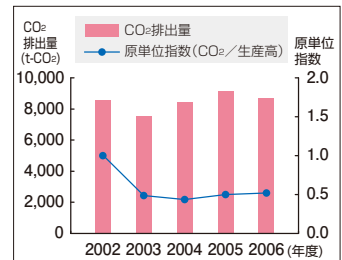
浜名湖の風景



内部環境監査事前説明会

廃棄物		
廃棄物量 (t)	再資源化量 (t)	リサイクル率 (%)
374	374	100
エネルギー使用量		
購入電力 (MWh)	都市ガス (Km ³)	CO ₂ 換算 (t-CO ₂)
19,689	237	8,929

活動実績データ 2006年度



CO₂の排出量

山陽工場

操業	1970年1月
住所	〒757-8585 山口県山陽小野田市本町5区
TEL	0836-72-1311
生産品目	圧電部品、液晶バックライトインバータモジュール
従業員数	138人



山陽工場は瀬戸内海沿岸の西側、周防灘に面した山口県山陽小野田市の北、自然豊かな厚狭の地に立地しています。

当工場は素材開発力、応用技術力を生かした電子部品の量産工場として、デジタル家電、車載、通信などを用途とする製品を生産しています。

このような中、環境への取り組みとして

- 1.製品環境対策の推進
 - ①化学物質規制への対応
 - ②含有化学物質管理の推進
- 2.地球温暖化防止：エネルギー消費CO₂の削減

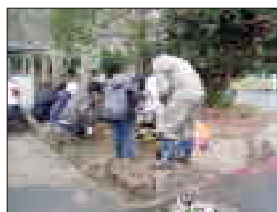
- 3.廃棄物発生量の削減
の3項目を目標に掲げ活動を行っています。特に化学物質については有害化学物質の規制が強まる中、さらに管理面での強化を図り、適正使用に取り組んでいきます。

また、市の環境審議会や緑化推進協議会等への参画や特別養護老人ホームの敷地内清掃活動などのボランティア活動を通じての地域環境保全活動へも取り組んでいます。

これからも、従業員一丸となって持続可能な社会を目指した地球環境保護活動を進めていきます。



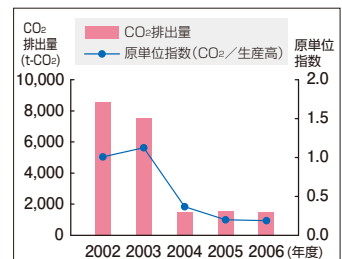
防災訓練風景



ボランティア清掃活動

廃棄物		
廃棄物量 (t)	再資源化量 (t)	リサイクル率 (%)
111	111	100
エネルギー使用量		
購入電力 (MWh)	CO ₂ 換算 (t-CO ₂)	
3,564	1,515	

活動実績データ 2006年度



CO₂の排出量

*CO₂排出量グラフの原単位指数は、2002年度の実績を1としています。

いわき工場

操業 2002年4月(旧いわき電子㈱をFDK㈱に吸収合併。旧いわき電子㈱は、1966年12月に設立)
住所 〒972-8322 福島県いわき市常磐上湯長谷町釜ノ前1
T E L 0246-43-4161
生産品目 液晶バックライト用インバータモジュール、VCO
従業員数 417人



いわき工場は福島県南東端に位置し、東は太平洋に面しているため、寒暖の差が比較的少なく気候に恵まれた地域にあります。当工場は、FDKの国内主力生産拠点としてインバータモジュールやVCOなどの生産を行っています。当工場はISO14001の認証を取得してから9年目を迎えました。これからさらに本来業務と直結した環境活動の推進を図っていくためにも社員教育に重点を置いた活動を展開しています。また、内部環境監査教育においては週一回の定期勉強会を開催し、講師からの一方通行的な講義ではなく、ディスカッション形式とすることで、より理解が深まるようにしました。

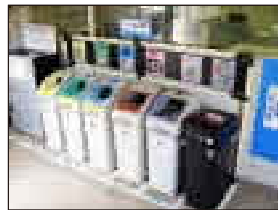
省エネ対策としては、小さなエリアで生産活動を行うという省ス

ペース化に合わせて、空調設備の配置を見直し、老朽化した空調機を最新の省エネルギータイプに更新しました。また、外気熱を利用する対策などにより生産量は増加しましたが、エネルギー消費量は減少させることができました。

化学物質のトルエンについては、洗浄方法の見直しなどにより大幅に削減する事ができました。社外への環境教育としては、雇用・能力開発機構の地方機関「ポリテクセンターいわき」において実習生への環境教育を実施しました。また、廃棄物の分別BOXには、誰にでもわかりやすいように対応する廃棄物の写真を掲載して改善を図りました。



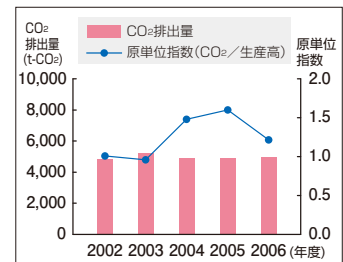
社外での環境教育風景
(ポリテクセンターいわきにて)



廃棄物分別BOX
(分別品の写真掲載)

廃棄物			
廃棄物量 (t)	再資源化量 (t)	リサイクル率 (%)	
315	315	100	
エネルギー使用量			
購入電力 (MWh)	A重油 (KL)	LPG (t)	CO ₂ 換算 (t-CO ₂)
10,101	189	40	4,940

活動実績データ 2006年度



CO₂の排出量

(株)FDKエンジニアリング

操業 1990年9月(FDK㈱の機械事業部門が分離独立。旧細江工場は、1963年11月に操業)
住所 〒431-1302 静岡県浜松市北区細江町広岡281
T E L 053-522-5280
事業内容 各種製造設備の設計・製造・販売
従業員数 64人



FDKエンジニアリングは企業向けの生産設備を設計・製造している会社です。現在では売上の約70%が自動車部品を組立てる設備です。最近では原油の高騰を背景に特に燃費向上のニーズが高まっており、そのための部品を生産する設備などが増加しています。当社では主に顧客が設備を使用するときの環境負荷を小さくするための「環境配慮設計」と当社の生産活動における環境負荷を小さくするための「グリーンファクトリー」の2つの観点から環境活動を展開しています。

1. 設備の環境配慮設計：消費電力の低減、塩ビ材および鉛はんだの使用ゼロ、設備の小型化設計

2. グリーンファクトリー：使用電力の削減、廃棄物の削減と再利用化
 当社での使用電力削減においては組立設備を同じエリアに集約させることで、エリア外となったエアコンや照明などの電力を削減し、設備の組立調整時間の削減にも取り組みました。これらの省エネ活動によってCO₂の排出量を削減することができました。

また地域との交流活動として

- ①「細江町環境美化の日」における地域との共同清掃
- ②江戸時代のお祭りにちなんだ地元のお祭り「姫様道中」への参加を行っています。



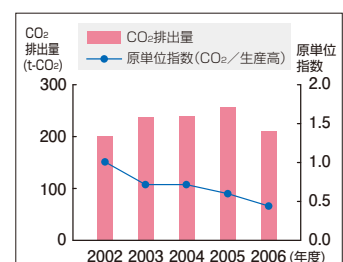
防災訓練風景



姫様道中への参加

廃棄物		
廃棄物量 (t)	再資源化量 (t)	リサイクル率 (%)
19	19	100
エネルギー使用量		
購入電力 (MWh)	CO ₂ 換算 (t-CO ₂)	
496	211	

活動実績データ 2006年度



CO₂の排出量



FDKエナジー(株)

操業 2002年8月(FDK(株)の電池製造部門が分離独立。旧鷺津工場は、1950年2月に操業)
 住所 〒431-0431 静岡県湖西市鷺津614
 TEL 053-576-2111
 事業内容 アルカリ乾電池、リチウム電池製造・販売
 従業員数 167人



FDKエナジーはアルカリ乾電池、リチウム電池の製造および技術開発の拠点となっています。

2006年度は売上高が昨年対比15%伸びる状況の中で、エネルギー消費量や廃棄物の削減目標をいかにして達成させるかが課題でした。

1. 製品環境対策の推進

FDKグループ含有化学物質管理基準の遵守を推進しました。

2. 地球温暖化防止の推進

エネルギー消費によるCO₂排出量削減活動は、施策のひとつであるコンプレッサーをインバーター化することによる省エネが削減に

寄与しました。その結果、CO₂排出目標5,360tに対し、実績は4,815tとなり目標を達成することができました。売上高15%の伸びに対し、CO₂排出量は7%の伸びにとどまりました。

3. グリーンファクトリーの推進

廃棄物発生量の抑制活動では、廃油の微生物分解処理や工場内で不要となったポリ袋のリユースなどを実施し、排出量の削減に努めています。また、工場保全活動としての緊急時対応訓練も毎年実施しています。

今後も大切な地球環境をより良くする為に従業員一丸となって活動を進めていきます。



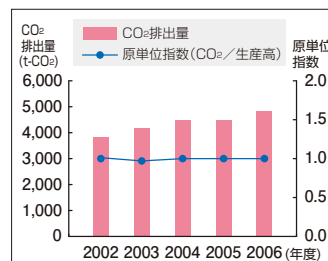
緊急時対応訓練
(化学物質の流出想定)



ポリ袋の社内リユース化

廃棄物		
廃棄物量 (t)	再資源化量 (t)	リサイクル率 (%)
796	796	100
エネルギー使用量		
購入電力 (MWh)	A重油 (Kℓ)	CO ₂ 換算 (t-CO ₂)
10,669	101	4,815

活動実績データ 2006年度



CO₂の排出量

FDKメカトロニクス(株)

操業 1989年11月1日
 住所 〒431-0431 静岡県湖西市鷺津2281
 TEL 053-575-3011
 事業内容 ステップモータ製造・販売
 従業員数 49人



FDKメカトロニクスは、ステップモータの開発・設計から量産工場への量産移管および、モータ事業全般の推進と管理を主要業務としています。環境保全への取り組みとしては、2006年度の7月にRoHS指令がスタートとなることもあり、製品環境対策については当社の対策組織をより強化して、重点的に取り組んできました。

活動内容としては、現行生産している製品のすべての部品類に対して、国内外を含む全ての購入先に含有物質の確認調査を行いました。調査の進捗状況を誰にでも一目で分かるように「みえる化」を行ない、組織強化により確実な確認体制をとってきました。そして、重点

管理すべき部品の購入先に対しては工程監査を実施して、禁止物質が含有しない体制ができているかどうかを確認しました。その結果、問題が改善されない購入先とは、法令遵守と品質保証の観点からやむを得ず取引を中止いたしました。一方、社内においては含有化学物質に関する社員教育を継続的に進めてきました。そして、分析に関するルールづくりや新しい製品を設計するときのデザインレビューでチェックを行うなどの管理と保証体制を構築して運用しています。



デザインレビュー風景



蛍光X線装置による含有化学物質の分析



開発品の評価

廃棄物、エネルギー使用量、CO₂排出量は湖西工場のデータに含まれています。

活動実績データ

FDKライフテック(株)

操業 1971年5月1日
 住所 〒431-0431 静岡県湖西市鷺津2281
 TEL 053-576-3121
 事業内容 FDKグループ向け福利厚生業務、保険代理店、緑茶等の販売
 従業員数 63人



当社はFDK株式会社の福利厚生部門を担うアウトソーシング企業として発足しました。業務は静岡県の湖西市にある本社といわき支社、山陽分室の3ヶ所で行っています。

福利厚生施設のひとつである社員食堂では、各メニューの一品ごとにカロリー表示を行っており、個人でバランスを考えた食事をとれるようにしています。また、栄養士によるヘルシーメニュー・減塩メニュー・新メニューにも取り組んでいます。湖西地区では、利用者の健康促進のために食堂のテーブルの上に「豆知識コーナー」の掲示を行い、食事と健康に関するミニ知識を提供しています。

環境保全面では、地球温暖化防止のために厨房でのガス・電気の消費量削減を目標に取り上げて活動を行っています。食堂からの生ゴミについては、生ゴミ処理機で堆肥に変えることでリサイクル利用しています。これらの環境活動は、FDKグループの一員としてISO14001の環境マネジメント活動の中で取り組んでいます。

また、社会貢献活動の一環として2006年度は募金付き自動販売機をいわき工場に設置しました。これからも人々の生活の直接関わる健康、福祉、環境、文化など総合的なヒューマンライフのサービスの提供を目指し、より社会に貢献できるよう取り組んでいきます。



社員食堂(湖西工場)



豆知識コーナー

静岡県産の原料茶葉を当社独自の製法によって粉末化し、商品化してご提供しています。



【るるん茶房】シリーズ

廃棄物、エネルギー使用量、CO₂の排出量の活動実績データについては、本社は湖西工場、山陽分室は山陽工場、いわき支社はいわき工場に含まれています。

活動実績データ

FUCHI ELECTRONICS CO., LTD. (富積電子) 〈台湾〉

操業 1981年1月
 住所 No.355,Section 2,Nankan Road,Rutsu Shan,Tao Yuan,Taiwan
 TEL +886 3 322 2124
 事業内容 液晶ディスプレイ用信号処理モジュール、液晶バックライト用インバータモジュールの製造・販売
 従業員数 975人



富積電子では、2000年1月にISO14001の認証を取得し、その後も環境マネジメントシステムの継続的な改善に努めてきました。最近では、環境への意識が高まり、環境を意識した企業活動がその評価やビジネスにつながることで、企業へ浸透し、マーケットがグリーン化するという大きな変化を見せてきております。このような変化の中で、当社は地球温暖化の影響などによる地球環境の変化に対して危機感をもって活動に取り組んでいます。主な活動内容は以下の内容です。

1. グリーン製品の提供(グリーン調達、鉛フリー化など)
2. リスクミニマム(有害物質の削減)
3. 地球温暖化対策(省エネルギー)
4. LCA(ライフサイクルアセスメント)の導入

5. 廃棄物削減による資源の循環対策

グリーン調達においては、当社独自のグリーンパートナー制度を導入してお取引先との連携を図り、当社製品の信頼性の確保と向上に努めております。2006年度には、グリーンパートナーとして認定したお取引先数は300社を超えました。また蛍光X線分析装置を導入し、自社での有害物質の測定を行っています。CO₂の排出量は増加しましたが、これは増産のために新たに台中工場が本格稼働したことによりです。

富積電子は、これからもお客様のニーズにお応えする製品を提供していきます。そして、従業員やその家族、子供達の未来において、企業としての責任を果たしていきます。



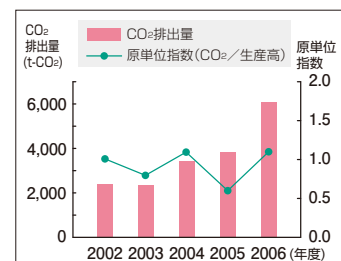
温室効果ガスに関する研修会



蛍光X線分析装置

廃棄物		
廃棄物量 (t)	再資源化量 (t)	リサイクル率 (%)
561	394	70
エネルギー使用量		
購入電力 (MWh)	CO ₂ 換算 (t-CO ₂)	
11,257	6,687	

活動実績データ 2006年度



CO₂の排出量



PT FDK INDONESIA (FDKインドネシア) <インドネシア>

操業	1989年8月
住所	Kawasan Industri MM2100, Blok MM-1 Jatiwangi Cikarang Barat, Bekasi 17520 Jawa Barat, Indonesia
TEL	+62 21 89982111
事業内容	アルカリ乾電池・リチウム電池製造・販売
従業員数	1,030人



FDKインドネシアは地球環境保全のため、環境に影響を与えているさまざまな負荷を低減すべく、2003年6月にISO14001:1996の認証を取得し、以降、環境保全活動を積極的に展開しております。

活動内容としては、有害化学物質の排除、電力を中心とした省エネルギー対策、廃棄物の削減および分別処理、大気への排出の監視・測定や緑化運動を行っています。使用電力量および廃棄物の削減につきましては、環境マネジメント計画において目標を設定し、定期的な監視のもとで推進しております。排水は、毎月の監視・測定も欠かさず行っており、測定結果は定期的に工業団地並びに政府機関に報告し

ています。

2006年度は、排水処理施設のオーバーホールを実施し、省エネ対策として、エアコンの制御装置を導入しました。また、環境リスク防止のため、万一化学物質を漏洩した場合の緊急対応訓練や対策なども実施しました。CO₂の排出量が昨年よりも増加しましたが、これはアルカリ乾電池の生産が増えたことによります。

FDKインドネシアは、今後も環境に適用される規則および要求事項を遵守し、環境負荷の低減に向け、全員参加で取り組んでいきます。



オーバーホールした排水処理施設

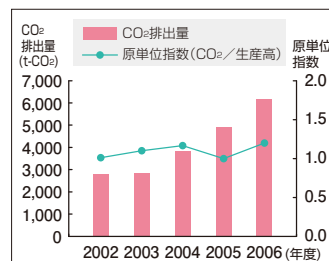


緊急時対応訓練

※廃棄物処理業者が行う再資源化についてはデータを収集していないため、未記入としています。CO₂排出量は、日本の換算係数を用いて算出しています。

廃棄物					
廃棄物量 (t)	再資源化量 (t)	リサイクル率 (%)			
365	※	※			
エネルギー使用量					
購入電力 (MWh)	A重油 (Kℓ)	灯油 (Kℓ)	LPG (t)	軽油 (Kℓ)	CO ₂ 換算 (t-CO ₂)
12,949	1	19	50	184	6,186

活動実績データ 2006年度



FDK LANKA (PVT) LTD. (FDKランカ) <スリランカ>

操業	1990年11月
住所	Ring Road 3, Phase II E.P.Z. Katunayake, Sri Lanka
TEL	+94 11 225 3492
事業内容	光通信用部品、FDD用磁気ヘッド、ロータリートランスの製造・販売
従業員数	2,058人



FDKランカは、2003年にISO14001の認証を取得しました。そして、2006年2月には、ISO14001の2004年版への移行を完了しております。当社では、以下の項目を2008年度までの3年間の目標として活動を推進しています。

1. 製品1台当りの二酸化炭素排出を15%削減する
2. 製品1台当りの廃棄物を5%削減する
3. 製品1台当りの化学物質の消費を30%削減する
4. 工場の境界における騒音レベルを低下する

2006年度は、生産革新運動での省スペース化によりエアコンの稼働台数を削減したこと、照明への対策により、省エネルギー化を

図りました。

これまで発電機の騒音対策については、継続的な対策をやっておりましたが、今年度、吸気フィルター部の改善などにより、目標としてきた騒音レベルまで低下させることができました。また、洗浄用の水をフィルターで浄化することで、水のリサイクル利用も進めました。そして、飲料水の浄化装置やドレンオイルの分離装置なども導入しました。

これからも「FDKグループは自然を愛します限りある地球のために」のスローガンのもと、美しいスリランカの継続とFDKランカの繁栄のため、私たちはこれからも環境保全活動を継続していきます。



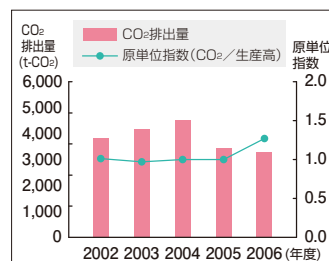
飲料水の浄化装置



コンプレッサーのドレン分離装置

廃棄物			
廃棄物量 (t)	再資源化量 (t)	リサイクル率 (%)	
191	119	62	
エネルギー使用量			
購入電力 (MWh)	LPG (t)	軽油 (Kℓ)	CO ₂ 換算 (t-CO ₂)
10,345	95	53	3,277

活動実績データ 2006年度



XIAMEN FDK CORPORATION(廈門FDK) 〈中国〉

操業 1994年3月
 住所 No.16,Malong Road,Huli District,Xiamen,Fujian,China
 TEL +86 592 603 0576
 事業内容 液晶バックライト用インバータモジュール、スイッチング電源、モータ、コイルデバイスの製造販売
 従業員数 2,326人



廈門FDKは、廈門市ハイテク産業区における400社以上ある企業の一社です。当社は2006年に、これまでのISO9001、ISO14001、OHS18001を一本化し、統合認証を取得しました。2006年度の主な活動結果は、以下のとおりです。

- 1.化学物質の使用量削減：前年度よりトルエンを9%、キシレンを45%削減できました。
- 2.含有化学物質の管理：含有化学物質の管理組織を強化して管理体系を整備しました。そして、購入している材料が関係法令や要求に合うことを確認し、お客様へ保証するための活動を展開しました。
- 3.環境教育：新入社員に対してはISO14001などに関する基礎手帳を配布して基礎知識の習得に努めました。在職者については毎

年、化学物質、廃棄物、省エネルギーと含有化学物質について、レベルアップのための教育を実施しています。そして、毎年4月は環境強調月として、啓蒙教育やイベント活動をとおして、全従業員の環境意識向上を図っています。

- 4.表彰：廈門ハイテク産業区管理委員会より、安全管理が進んでいる企業として「2006年度の廈門ハイテク産業区安全生産管理先進企業」の表彰を受けました。そして、管理部の黃煌部長は、社内の安全活動のレベルを高めたすぐれた見識をもった管理者として「安全工作先進個人の賞」を受賞いたしました。廈門FDKはこれからも環境方針に基づいた環境活動を全社一丸となって推進していきます。



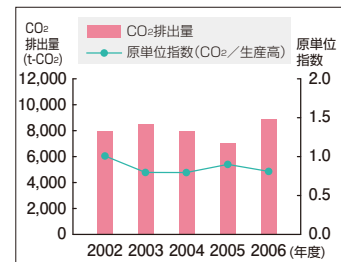
廈門市仙岳山での清掃活動



安全生産先進企業の表彰

廃棄物		
廃棄物量 (t)	再資源化量 (t)	リサイクル率 (%)
626	305	49
エネルギー使用量		
購入電力 (MWh)	CO ₂ 換算 (t-CO ₂)	
9,480	8,892	

活動実績データ 2006年度



CO₂の排出量

SHANGHAI FDK CORPORATION(上海FDK) 〈中国〉

操業 1995年8月
 住所 499 Dong Qu Road,Songjiang Industrial Zone,Shanghai,China
 TEL +86 21 5774 2028
 事業内容 コイルデバイス、液晶ディスプレイ用信号処理モジュールの製造・販売
 従業員数 1,906人



上海FDKは、「企業の発展を通じて社会に貢献する」との経営理念のもと、「自然と共生する物づくり」を行動指針として、「法律・法規を守る、環境汚染を予防し環境保護する、クリーン製品の提供」という環境方針のもとに全員参加で活動を展開しています。2006年度は主に以下の活動を行ってきました。

- 1.毎月、「黒板新聞」を発行することで、環境に関する情報を連絡するとともに社員の環境意識を高めるようにしています。特に新人への教育は、有害化学物質や環境マネジメントシステムの内容について充実を図っています。
- 2.エネルギー使用量はコイルデバイスの生産が増えたことにより、昨年よりも増加しました。なお、2005年度にCO₂の排出量が大きく

減ったのは、フェライトの生産を南京FDKに移管したことによります。

- 3.環境負荷化学物質については、これまでの管理をさらに強化しました。お客様の要望に応えるように文書管理などにおいても見直しを図り、より確実なものとなりました。
- 4.社会安全活動としては、松江工業区と警察が主催した交通安全活動などに参加しました。また、毎年、5月には安全生産の活動を行っており、作業安全のための活動を行うとともに消防訓練も実施しています。

上海FDKは、これからも環境改善活動を進めて地球環境保護活動に貢献していきます。



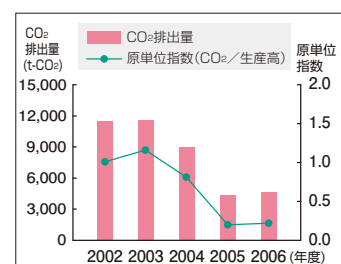
消防訓練風景



工場敷地内の植樹

廃棄物		
廃棄物量 (t)	再資源化量 (t)	リサイクル率 (%)
108	47	44
エネルギー使用量		
購入電力 (MWh)	CO ₂ 換算 (t-CO ₂)	
4,772	4,691	

活動実績データ 2006年度



CO₂の排出量



SUZHOU FDK CO., LTD. (蘇州FDK) 〈中国〉

操業 2001年6月
 住所 43 Building Fengqiao Industrial Park 158- 88 Huashan Road,Suzhou New District Jiangsu,China
 TEL +86 512 66619392
 事業内容 液晶ディスプレイ用信号処理モジュールの製造・販売
 従業員数 1,600人



蘇州FDKは2004年12月にISO14001:1996版の認証を取得し、2006年4月にISO14001:2004の改版後の認定を取得しました。2006年の主な活動は以下の内容です。

- 1.新入社員に対して環境保護意識を高めるように、オリエンテーションを行い環境パンフレットの配付を行いました。一般社員については、年間教育計画に沿って内部監査員教育、環境法令、含有化学物質管理などの教育を行いました。
- 2.騒音に関してはここ何年間の改善により工場周辺の夜間騒音は基準値を達成することができました。
- 3.安全および消防の管理活動として、毎年、避難演習と消防教育を行っています。
- 4.含有化学物質については、社員が一丸となって努力した結果、社内

の全プロセスを鉛フリーに移行できました。原材料および補助材料のメーカーからは、有害物質が含有していないことの保証書を提出してもらっています。同時に社内の蛍光X線分析装置により定期的に有害物質の検査を行って管理しています。

- 5.使用資源の削減や省エネルギー活動においては、目標値を設定して取り組んでいます。紙の使用量、水の使用量、化学物資の使用量は昨年よりも削減でき、目標を達成しました。省エネルギーについては、生産量が増加したために使用電力が増加しました。

これからも蘇州FDKは法律を遵守し、ユーザーの要求を満足させてまいります。そして、地球保護、人類生存のための環境保全に全力を尽くして社会に貢献します。



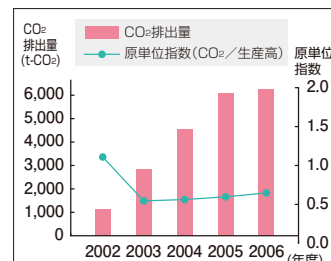
緊急避難訓練



消防演習活動

廃棄物		
廃棄物量 (t)	再資源化量 (t)	リサイクル率 (%)
196	104	53
エネルギー使用量		
購入電力 (MWh)	CO ₂ 換算 (t-CO ₂)	
6,580	6,172	

活動実績データ 2006年度



CO₂の排出量

FDK (THAILAND) CO., LTD. (FDKタイランド) 〈タイ〉

操業 2001年12月
 住所 60/118 [Navanokorn Industrial Estate Zone 3] Moo 19,Phaholyothin Road,Tambon Klongnong,Amphur Klongluang,Pathumthani 12120,Thailand
 TEL +66 2529 4930
 事業内容 モーターの製造・販売
 従業員数 589人



FDKタイランドは、OAおよび車載用のステップモーターを製造・販売しております。2007年12月で創立6年を迎え、前身の富士通タイランドから通算すると18年の操業実績です。FDKタイランドの環境方針は以下の通りです。

- 1.我々組織が関係するタイ王国およびお取引先の環境に関する法規・規定・ルールなどを厳守する。
- 2.システムを継続的に改善し、弊社事業運営活動により発生する汚染を未然防止し、廃棄物有効利用により、水質・土壌・大気に対する影響を低減させる。
- 3.資源を最高に有効利用し、エネルギーの保護および節約をさせる活動を推進させる。
- 4.全社員の環境保護の意識を向上させる。

2006年度の重点項目は、「エネルギー使用量の削減」と「RoHS

などに対応した含有化学物質管理」でした。エネルギー使用量の削減のため、工場内のエアコンの約半数に省エネ制御装置を設置しました。そして、屋根へのセラミックコートを実施しました。これは、屋根から室内への伝熱を抑えることで、エアコンの消費電力を削減するものです。

RoHS指令への対応においては、お取引先管理の徹底を目的に、重点お取引先を選定して監査を行いました。監査により、当社の含有化学物質における管理方針を実務ベースで理解いただけたと感じております。そして、契約社員も含めた全社員への社内教育を実施する事で含有化学物質の管理レベルの向上を図りました。

FDKタイランドは、これからも環境に対して全社一丸となって継続的な改善を行い、環境と調和しながら躍進していきます。



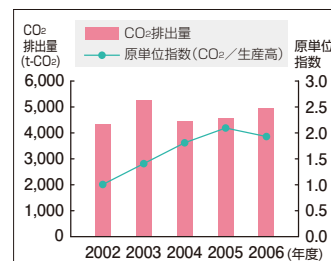
工場屋根への断熱塗料塗布



エアコンの省エネ制御装置導入

廃棄物		
廃棄物量 (t)	再資源化量 (t)	リサイクル率 (%)
551	520	94
エネルギー使用量		
購入電力 (MWh)	LPG (t)	CO ₂ 換算 (t-CO ₂)
4,926	8	4,941

活動実績データ 2006年度



CO₂の排出量